

卒業論文 2011 年度

マクロプルーデンス体制の構築と効果検証

DSGE モデルアプローチ

慶應義塾大学 経済学部

西尾 俊洋

2012 年 1 月 24 日

要旨

本論文では、DSGE モデル内にマクロプルーデンス体制を構築し、その効果を検証した。効果検証にあたっては、どのような波及メカニズムで経済厚生がよくなるのか、あるいは、どのような状況下で最も効果を発揮するのかについて明らかにした。具体的に、金融規制監督機関が GDP や資本財価格の動きに注目し目標自己資本比率を決定し、同時に、資本財価格の動きに併せて目標ローン資産価値比率を決定することで、金融市場の安定化を通じ、現実には起こりうる様々なショックが生み出す経済損失を最小化できることがわかった。特に、金融緩和ショック、生産性ショック、そして金融危機ショック発生時に最も効果を発揮することが明らかになった。

キーワード

金融危機 金融契約 金融システム 金融政策 金融摩擦 マクロプルーデンス政策
DSGE モデル